

明日への希望を応援しよう! 「フードバンクふなばし」の活動

品質に問題がないのに廃棄せざるを得ない食品を、企業や個人から寄贈していただき、必要としている方にお届けしているフードバンク。コープみらいはこの活動を応援し、組合員の皆さんからもたくさんの食品を寄贈していただいています。

今回は、コロナ禍における新たな取り組みとして、支援が必要な方に実施会場に来ていただき、食品をお渡りする「パントリーピックアップ」を開始したフードバンクふなばしの活動取材しました。



「家族葬のファミリーユ(鎌ヶ谷会場)」にて

来場者のくらしを思い浮かべて食品を揃える

フードバンクふなばしではひとり親世帯を対象に、船橋市内で毎月2回パントリーピックアップを行っています。9月13日(日)は4組の親子が来場し、テーブルに並んだたくさんの食品の中から米やパン、缶詰、お菓子など必要な食品を選んで持ち帰っていました。

代表の笹田さんと副代表の岡田さんは来場者に明るく話しかけ、おしゃべりを通じて日々の様子を気にかけています。「家計が厳しくても主食費はなかなか削れないのでおやつ代を捻出できず、おやつを買ってあげられない家庭もあります。ここではお菓子も用意して、皆さんに喜んでもらえるようにしています」。この心づかいから来場者のくらしに寄り添った取り組みだと伝わってきます。

● 笹田さん・岡田さんからメッセージ

支援が必要な方に必要な情報を届けたい

パントリーピックアップは、新しい取り組みでまだ手探りな状況です。どこの地域にニーズがあるのかもつかみ切れず「まずはやってみよう!」という精神でスタートしました。まだこの活動の認知度が低いので、支援が必要な方に必要な情報を行きわたらせることがこれからの課題です。

フードバンク
ふなばし



左) 笹田さん 右) 岡田さん

支援が必要な方に活動を伝えてください

コープみらいの組合員の皆さんにはいつも温かい気持ちでたくさんの食品を寄贈していただいております。本当にありがとうございます。フードバンクふなばしを立ち上げて3年目の今年はコロナ禍の影響を受け、配送依頼件数は8月末時点で211件と昨年1年間で対応した205件を大きく上回る見込みです。この厳しい現実の中、これからも支援の手が必要となりますので、今後も食品の寄贈にご協力をお願いいたします。

また、身近なところで支援が必要な方がいらした場合には、フードバンクふなばしの活動をぜひお伝えいただければ幸いです。

ひとり親になり10年以上…この活動はとてありがたいです

来場した方の声を伺いました

40代女性(家族:中学1年)

ひとり親になり10年以上になりますが、娘も食べ盛りになり、お米をいただけるとてもありがたいです。

40代女性(家族:小学1年、中学1年、高校1年)

コロナ禍で仕事が見つからず不安の中、この活動のおかげで食事面の負担が軽くなりました。動けるようになりましたが、子どもは放課後ルームでもらえるコープのおやつがいつも楽しみようです。今日も真っ先にコープのあんパンを選んでいました。コープみらいの支援もありがたく思います。

20代女性(家族:6カ月、2歳)

別の会場に参加してから、今では月1回の食品配送支援もお願いしています。上の子がよく食べるようになったので、ここでお菓子をいただけるとても喜んでます。



※この活動は船橋市在住の方を対象としています。市外にお住まいの方は、フードバンクちば(千葉県全域)・とうかつ草の根フードバンク(東葛地域対象)などへお問い合わせください。

フードバンク
ちば



とうかつ草の根
フードバンク



(フェイスブック)